



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

KOMAKI SHIGIKAI DAYORI

こまき 市議会 だより

No.192 発行／小牧市議会
2020年11月1日

- 令和元年度一般会計歳入歳出決算を含む
決算議案12件を認定 ……2～4
- 17人の議員が一般質問を実施 ……10～15
- 新副議長はじめ、各種委員会等構成決まる
……………18・19
- 給食に関する要望書を市長へ提出 ……20

*ホームページ

小牧市議会

検索

<http://www.city.komaki.aichi.jp/shigikai/>

★表紙写真の募集をしています。



誉高等学校体育大会（令和2年10月2日撮影）

★写真は同校の生徒さんよりご提供いただきました。

新図書館・こども未来館の 事業費等を含む決算12件を認定

※2～4ページの決算に関する金額は、1万円未満切り捨てで表記しています。

一般会計歳入歳出決算

令和元年度一般会計は、歳入総額が584億3281万円（対前年度比0.4%増）、歳出総額が550億4645万円（同1.3%減）となり、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は23億3979万円の黒字となりました。

歳入では、最大の財源となる市税が339億3164万円（対前年度比2.5%増）で3年連続の増収となりました。これは、建物の新築・増築等による固定資産税の増収や、緩やかな景気回復の影響による個人市民税の増収によるものです。

歳出では、民生費が対前年度比3.9%減となりましたが、201億737万円で最も多く、次に土木費は、都市基盤整備基金積立金や市営駐車場施設整備事業費の増などにより同18.4%増の88億5541万円、教育費が86億9056万円、衛生費が58億2654万円の順となりました。



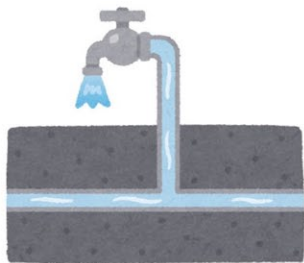
病院事業決算

・総収益…217億2219万円
・総費用…240億6072万円
・差し引き…23億3853万円の純損失

純損失の結果は、新病院分の減価償却費の増や旧病院解体工事費等を特別損益に計上したことによるものです。また、特別損益を除いた経常収支は、19億60万円の経常損失となりました。

水道事業決算

・総収益…28億7996万円
・総費用…25億4096万円
・差し引き…3億3900万円の純利益



下水道事業決算

・総収益…28億830万円
・総費用…28億830万円
・差し引き…0円

決算の争点をチェック！

「小牧駅周辺整備に関する議論」

市は、小牧駅周辺整備をこども未来館、新図書館の整備とあわせて「三位一体」の事業として位置づけ、中心市街地のランドデザイン戦略会議等も通じながら議論を進めています。

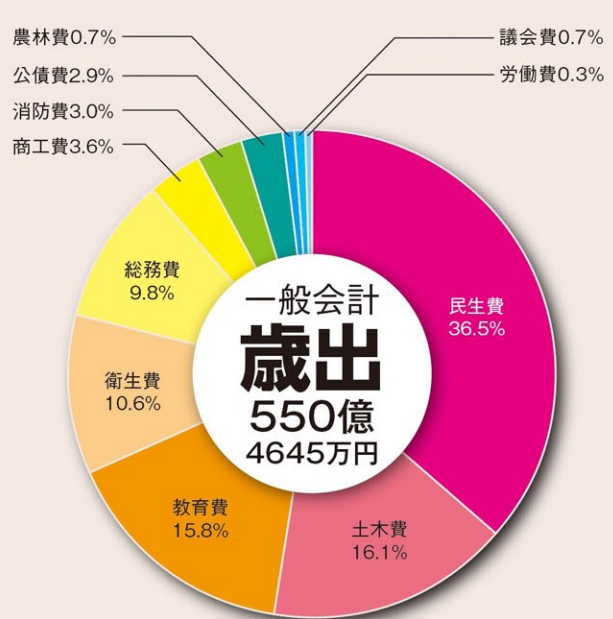
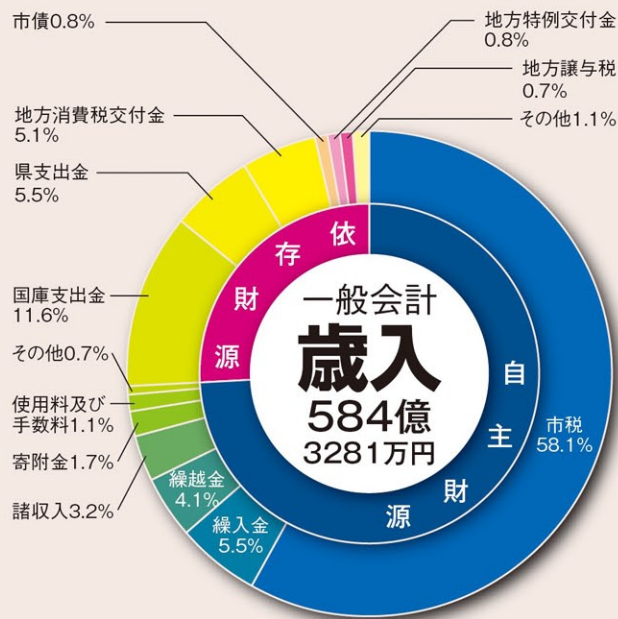
なお、こども未来館は令和2年12月に、新図書館は令和3年3月にそれぞれ開館が予定されています。

これらの事業に関し、議員からは反対意見として、「新図書館建設について、地下駐車場は費用が高額であり、工事中に見つかった瓦礫等の撤去費は所有者が負担するもので、市が負担すべきではない」。賛成意見として、「新図書館の建設事業は、入札の結果、契約額が想定より低く抑えられている。地下駐車場の整備について

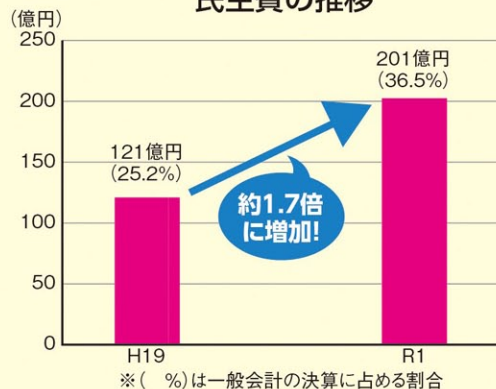
も、小牧駅周辺の駐車台数は充足すると予測され、整備は妥当だ。」等の意見が出ました。



令和元年度 一般会計歳入歳出決算内訳



民生費の推移



民生費は、平成19年度の決算から割合が最も多くなり、以降現在もその状況が続いています。

民生費とは、保育園、児童館、児童手当等の児童福祉費、こども医療、障がい者医療等の医療費、高齢者施設や介護等の高齢者福祉、生活保護など、福祉に関する各事業にかかる費用を指します。

待機児童対策や医療、介護など、今後も民生費の増加傾向はしばらく続くと思われます。

「一般会計の3分の1を占める民生費」

各会計の決算状況

区分		収入済額	支出済額	実質収支額
一般会計		584億3281万円	550億4645万円	23億3979万円
特別会計	土地取得	87万円	87万円	0円
	国民健康保険事業	127億353万円	126億8921万円	1431万円
	小松寺土地区画整理事業	2240万円	2003万円	237万円
	文津土地区画整理事業	5億4258万円	4億9489万円	1335万円
	岩崎山前土地区画整理事業	2億862万円	1億3019万円	5689万円
	小牧南土地区画整理事業	6億6311万円	6億3430万円	839万円
	介護保険事業	77億7260万円	76億5190万円	1億2070万円
	後期高齢者医療	32億6785万円	32億6020万円	764万円
	計	251億8160万円	248億8163万円	2億2367万円
合計		836億1441万円	799億2808万円	25億6347万円

※1万円未満は切り捨てのため、合計が合わない場合があります。

ヤング健診事業 114万円



35～39歳を対象にメタボ健診を実施し、その結果を個別に説明しました。

消防用施設設備整備事業 1,298万円



消防本部仮眠室の増設を含む消防本部庁舎の改修を行いました。

こまき巡回バス運行事業 3億4,216万円



巡回バス運行管理のほか、令和元年5月にバスロケーションシステムを導入しました。

いじめ・不登校対策事業 6,266万円



いじめ・不登校の問題を抱える児童生徒への対応にあたる各種体制を整備しました。



決算の主な審査内容です

問 二つの第三者委員会（パワーハラスメントの疑い・業務委託契約における情報漏えいの疑い）について、各委員会より報告書が提出された後の再発防止に向けた取組は。

答 パワーハラスメントに関する取組として、すべての課長・係長級の職員等へハラスメント防止研修を実施したほか、平成31年4月にこの健康相談員を配置した。情報漏えい防止に関する取組として、随意契約ガイドラインの見直しを図ったほか、職員のコンプライアンス意識向上を図るための研修会を開催した。

問 消防本部仮眠室増設工事を行った理由は。

答 令和元年度に消防本部発足以降初めてとなる女性職員を1名採用したため、隔日勤務できるよう消防本部の一部を改修し、女性職員用の仮眠室、浴室及び更衣室を新設したためである。



問 ヤング健診の受診状況は。

答 令和元年度の受診者は266人（受診率2・9％）であり、前年度と比較して減少している。



問 スクールソーシャルワーカーの訪問件数が前年度よりも大幅に増えた理由は。

答 不登校や児童虐待などの問題に対応するため、平成28年度よりスクールソーシャルワーカーを1名配置した。その取組を充実させるために、令和元年度より1名増員し、2名体制としたためである。

問 バスロケーションシステム導入の効果は。

答 システム導入により、バスの発車時刻や遅延状況等を利用者がリアルタイムで把握でき、待ち時間のストレス軽減につながった。

また、利用者からの問い合わせに対し、運行状況を速やかに回答できるようになった。

第3回定例会

会期を9月4日から10月1日までの28日間とし、決算12件をはじめ、合計24議案と請願4件を審議しました。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策として、第2回定例会(6月議会)に引き続き議案及び請願審議を優先した日程とする等の対策を行いました。

上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。



条例

▽中小企業振興基本条例の一部を改正する条例の制定

中小企業等経営強化法の改正に伴い、引用する規定の整備を行うものです。

▽指定居宅介護支援事業者の指定に係る申請者の資格並びに指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定

国の指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等の改正に伴い、指定居宅介護支援事業所の管理者の資格の見直し等をするものです。

一般

▽セキュリティゲートの取得

図書の盗難防止のため、新図書館の出入り口等に設置するセキュリティゲートを取得するものです。

補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ計1億1204万5000円増額し、予算総額を804億5575万7000円とするものです。主なものは次のとおりです。

・介護施設等感染拡大防止対策補助金
1788万円

・戸籍住民基本台帳管理一般事業
1163万5000円

・障害者施設整備費補助金
1000万円

・飲食店新型コロナウイルス対策補助金
900万円

人事

▽教育委員会委員の任命

※敬称略

・伊藤 和子(再任)

・河内 光(新任)

請願審議

▽定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書
…採択

▽小牧市図書館(小牧市立図書館本館)の取り壊しを求め、有効な利活用を求める請願書
…不採択

▽高齢者タクシー券補助制度を求める請願書
…不採択

▽学校及び公共施設のトイレ洋式化を求める請願書
…趣旨採択



第3回定例会

◇上程議案と審議結果◇

◎全員賛成した議案 ●表決の分かれた議案(詳細は下記表を参照)
※否決された議案はありませんでした

◇令和元年度決算……12件

●一般会計歳入歳出決算 ◎土地取得特別会計歳入歳出決算 ●国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 ◎尾張都市計画事業小牧小松寺土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算 ◎尾張都市計画事業小牧文津土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算 ◎尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算 ◎尾張都市計画事業小牧南土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算 ●介護保険事業特別会計歳入歳出決算 ◎後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 ◎病院事業決算 ◎水道事業決算 ◎下水道事業決算

◇条例案……2件

◎中小企業振興基本条例の一部を改正する条例の制定
◎指定居宅介護支援事業者の指定に係る申請者の資格並びに指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定

◇一般議案……1件

◎セキュリティゲートの取得

◇令和2年度補正予算案……5件

●一般会計補正予算(第8号) ◎国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ◎病院事業会計補正予算(第1号) ◎一般会計補正予算(第9号)

◇人事案……3件

◎教育委員会委員の任命(2件) ◎監査委員の選任

◇意見書案……1件

◎定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出

表決結果の分かれた議案(「●」の議案です)

議員名は会派別、50音順です

第3回定例会	牧 政 会										新政こまき					公 明 党 小牧市議団			明正クラブ			無会派		
	石田 知早人	稲垣 守	長田 淳	木村 哲也	小島 倫明	澤田 勝巳	鈴木 裕士	玉井 宰	船橋 厚	舟橋 秀和	小川 真由美	熊澤 一敏	小沢 国大	野々川 嘉則	諸岡 英実	谷田貝 将典	稲垣 衿子	加藤 晶子	星熊 伸作	大上 利幸	河内 伸一	船引 嘉明	安江 美代子	山田 美代子
令和元年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
令和元年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
令和元年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
令和2年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

■表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。
■賛否の分かれた結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。
■議長は、通常、採決には参加していませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。
■稲垣 守議員の所属会派は、9月30日付で牧政会から無会派へ変更となりました。

意見書の提出

議員提案した1件の意見書案を、本会議において原案のとおり可決した後、関係機関へ提出しました。その内容は次のとおりです。

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

未来を担う子どもたちが夢や希望を持ち、健やかに成長していくことは、全ての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成に向けて、日々真摯に教育活動に取り組んでいるものの、いじめや不登校など子どもたちを取り巻く教育課題は依然として解決されていない。また、特別な支援や日本語教育を必要とする子どもも多く、一人一人に応じた適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。昨年度、文部科学省は、1920人の定数改善を示した。しかし、少人数学級の推進

や教職員定数改善計画は示されておらず、不十分なものであった。現在、小学校では新学習指導要領が全面实施となり、外国語教育については、学習内容や授業時数の増加により、子どもたちや学校現場の負担となつていくという声が大い。子どもたち一人一人への指導の充実のためには、専門的な知識や指導方法を身につけた小学校英語専科教員の全校配置が必要である。また、少人数学級は、地域・保護者からも一人一人の子どもにきめ細かな対応ができるという声が多く聞かれる。山積する課題に対応し、全ての子どもたちに行き届いた教育を行うためにも、少人数学級の更なる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられたままであり、自治体の財政は圧迫されてい

る。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ還元すること、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。よって、国においては、来年度の政府予算編成に当たり、定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への還元に向けて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

令和2年9月18日

小牧市議会

内閣総理大臣、総務大臣、
財務大臣、文部科学大臣、
内閣官房長官宛



◇2月1日号議会だより

表紙写真募集

〈募集する写真について〉

○テーマ 冬がイメージできる市内の風景等

○応募期限 1月12日(火)まで。

○提出先 小牧市議会事務局

電話(76)1168

FAX(76)0360

Eメール

gikaigij@city.komaki.lg.jp

〈注意事項〉

○応募は、市内在住・在勤・在学の方のみです。

○応募写真は、編集委員会で誌面構成を考慮し、1枚掲載いたします。(選考結果の報告はいたしませんのでご了承ください)

○応募写真・提出者の氏名・連絡先・撮影日・撮影場所をデータで提供してください。

なお、著作権は市議会に帰属します。

○被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上で、応募してください。



委員会審査報告

主な審査内容と結果をお知らせします。

総務委員会

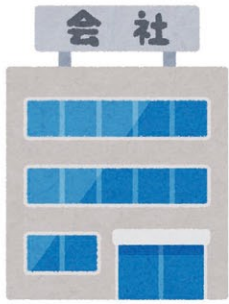
中小企業振興基本条例の一部を改正する条例の制定

中小企業における事業承継の円滑化等法改正の反映

問 中小企業等経営強化法の改正に伴い、今回、条例の改正を行うが、法律の改正内容は、

答 今回の主な改正は、経営力向上企業における事業承継の促進に関すること、この法律で規定している経営革新計画の定義の見直し等である。

結果 全員一致で可決



福祉厚生委員会

指定居宅介護支援事業者の指定に係る申請者の資格並びに指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定

指定居宅介護支援事業所の管理者の資格を見直し

問 主任介護支援専門員の確保が著しく困難である等やむを得ない理由がある場合とは、具体的にどのような状況なのか。

答 令和3年4月1日以降、本人の死亡、長期療養が必要など、健康上の理由や急な退職、転居により主任介護支援専門員を管理者とできなくなった場合であって、これらの理由と今後の管理者確保のための計画書を届け出た場合である。

結果 全員一致で可決

文教建設委員会

セキュリティゲートの取得

新図書館にセキュリティゲートを導入

問 他市の図書館でのセキュリティゲートの導入実績と盗難防止の効果は。

答 愛知県内の12市においてセキュリティゲートが導入されており、いずれの自治体においても盗難がほとんど発生していないとのこと、高い導入効果を確認している。

結果 全員一致で可決



建設中の新図書館

予算決算委員会

令和2年度一般会計補正予算(第8号)

結果 賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

〈総務分科会〉

ふるさとハローワークに代わる新たな施設を市役所へ移設

問 庁舎維持補修工事費として330万円余の経費が計上されているが、この内容は何か。

答 現在、名鉄小牧駅ビルの中で業務を行っているふるさとハローワークに代わる新たな施設を設置するための庁舎改修工事である。

ふるさとハローワークが、令和3年3月末で業務を終了することに伴い、新たな施設を市役所東庁舎1階へ移転することとし、厚生労働省から、令和2年7月10日付けで事業実施の準備を進めていくよう正式な通知があったため、今回補正予算を計上したものである。

〈福祉厚生分科会〉

まもなく開館すること未来館
コロナ対策の状況は

問 こども未来館の新型コロナウイルス対策をどのように考えているのか。

答 こども未来館は屋内施設のため、定期的な消毒が欠かせないと考えており、当面は密にならないよう定員を設けて、午前・午後の完全入替え制で、入館者の連絡先を確認の上で来館してもらい、入替えの際に、消毒、清掃、換気を徹底していくことを検討している。

また、ネット遊具やデジタルコンテツなど、エリアごとで定員を設けるが、定員数は検討中である。

開館時間については、夜間の開館を当面見合わせ、午前10時から午後5時半までの開館を検討している。



〈文教建設分科会〉

ICT活用環境の早期整備にあわせICT支援員の訪問回数増加！

問 今回増額するICT活用支援委託料とICT活用支援委託事業の限度額設定の理由は。

答 ICT活用支援委託事業は、学校を巡回訪問し、ICT機器の活用事例の紹介等の各種支援を行うICT支援員に関する事業である。

新型コロナウイルス感染症による全国的な臨時休校により、ICTを活用したオンライン学習ができる環境を早期に実現する必要があるため、全児童生徒1人1台端末環境を前倒しして整備することにあわせ、ICT支援員の訪問回数を増やすものである。

現在、ICT支援員は、モデル校の4校に月4回程度、他の21小中学校に月2回程度訪問しているが、今年10月から徐々に訪問回数を増やし、来年度から全ての小中学校において、月4回程度の訪問回数にするため、増加分として、今年度は363万円を計上し、令和3年度は1452万円を新たに債務負担行為で設定するものである。

予算決算委員会

令和2年度一般会計補正予算(第9号)
結果 全員一致で可決

〈総務分科会〉

こまき応援食事業開始に伴う飲食店新型コロナウイルス対策補助金申請増に対応

問 8月臨時会でも800万円の補正予算を計上していたが、短期間に連続して補正予算を要求する理由は。

答 8月の臨時会で議決された800万円を加えた計1600万円の予算に対し、8月末までに136店からの申請があり、1371万9000円を執行した。11月から始まるこまき応援食事業に向け、市内の飲食店573店に対し郵送で直接案内を行っており、今後新たな補助金の申請があるものと考えている。また、8月末までに申請した136店のうち、上限額の15万円に達していない店舗が95店あり、追加申請の可能性がある。こまき応援食事業への参加を踏まえ、これらに対応する予算を確保する必要があるためである。

〈文教建設分科会〉

3給食センター調理室の空調設備改善へ

問 来年の夏休み期間の通常給食提供は可能か。

答 夏休み期間に通常給食を提供するには、調理室等又は配膳室の室温について一定の改善が図られていることが前提となる。整備スケジュールは、調理室等は来年8月末、配膳室は6月末に完了予定であり、配膳室については一定の改善が図られる。仮に来年の夏休み期間に授業を行う場合は、工事手法を工夫するなどし、通常給食が提供できる対応をしていきたい。



新型コロナウイルス感染症の
感染拡大に伴う支援体制



牧 政 会
長 田 淳

問

8月4日の新聞報道にもあったが、小牧市では新型コロナウイルス感染症感染者及び濃厚接触者のうち、自宅療養を余儀なくされた方を対象に自宅療養セットを提供されているとのことである。そこで、

- ①その支援内容について問う。
- ②制度周知の状況等について問う。

答

①自宅での療養生活に必要な概ね2週間分の食料品と日用品をセットにして、自宅までお届けするもので、費用は市が全額負担している。生活支援は、「地方創生包括連携協定」を締結している「セブンイレブ・ジャパン株式会社」と連携しており、小牧市独自の支援体制を整えた。

②支援制度の周知については、市のホームページへの掲載や広報こまき9月15日号で周知するとともに、報道機関へも情報を提供し、中日新聞の近郊版と県内版に、本制度の記事が掲載された。引き続き、支援を必要とする方に情報が届くように周知に努める。また、保健所との連携も密にして自宅療養者が安心していただけるよう努める。



夏季休業期間中の学校給食



牧 政 会
小 島 倫 明

問

今年度の小中学校は、新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季休業期間中に授業が実施され、給食も提供されたが、調理を行わない簡易給食が提供された。

- ①簡易給食に決定した経緯と児童生徒及び保護者の反応、市の対応について問う。
- ②学校衛生基準をクリアするため給食センターに空調設備を整備することについて問う。

答

①夏季休業中の給食について、本市においては、午前中だけの授業であり、提供しないことも考えたが、下校中の熱中症を心配しエネルギー・水分補給として給食を提供することとした。また、新型コロナウイルス感染症、食中毒のリスクを考え、調理を伴わない個別包装のパンなどの簡易給食とした。しかし、児童生徒及び保護者から「量が少なくお腹が満たされない」などのご意見を多数いただき、市負担により食品を1品追加した。また、市長が実質的に軽食で給食費を徴収すべきではないと判断して「無償提供」とした。②市内3給食センターは、今定例会に空調設備の設計監理委託料の補正予算を提案し、各学校の配膳室についても、次回定例会には設備改修に必要な予算を計上し、来年の夏には調理を伴う給食が提供できるよう改善を進めていく。

保健行政を推進するための保健師



新政こまき
熊 澤 一 敏

問

①保健師はどのような業務を行っているのか伺う。②保健師の配置状況について伺う。

答

①保健師は、保健センターを拠点として子育て世代包括支援センター、健康生きがい推進課、地域包括ケア推進課、介護保険課と連携することで、地域で暮らすあらゆる方々の健康づくりを担っている。更に、区長、民生委員・児童委員、保健連絡員、地域包括支援センターなどの関係機関と連携して地域の健康づくり、支え合いの地域づくりにも取り組んでいる。②現在19名を配置しており、保健センターに配置する統括保健師の調整のもと、それぞれの部署で役割に応じて保健業務に取り組んでいる。近年、高齢化の進展、健康づくり施策への対応などによる業務量の増加などで保健師の必要性は高まっているため、幅広い年齢層から人材確保を求める考えのもと、採用年齢を40歳以下に引き上げて人材の獲得に努めている。今後、保健業務の細分化・専門化が進むと予想されるが、保健師には住民に分かりやすく健康づくりの必要性等を伝え、行動変容につなげる役割が期待される。



オンライン・リモート会議システムの 利活用



牧 政 会
木 村 哲 也

問

今後の利活用についての考えは—
オンライン・リモート会議システムは、
コロナ禍における移動制限対策や会議室
の密回避として様々な場面で利活用され
ている。

- ① オンライン育児相談について問う。
- ② 小学校教育における準備状況を問う。
- ③ 健康生きがい支え合い事業はどうか問う。

答

—より積極的な利活用を検討していく
① 感染リスクを回避する相談方法として、
8月から開始した。利用者からは、安心して
相談できたとの感想があった。今後、多胎家
族応援講座においても実施していく。

② 今後、長期の臨時休校時の学習保障とし
て、オンライン学習を段階的にステップアップ
させていく計画づくりに取り組んでいるところ
である。1人1台タブレット端末の早期整
備を進めるなかで、段階的にオンライン授業
の実施を実現していきたい。

③ 各地域協議会では様々な方法
を検討しており、代表者会議でオ
ンライン会議体験を予定してい
る。今後はワークティブこまきと連
携した支援も検討していきたい。



小牧市の財政健全化への取組



牧 政 会
玉 井 宰

問

① 新型コロナウイルス対策に用いた項目
と費用について問う。② 自然災害に備え
た財政のあり方について問う。③ 税収の見通
しについて問う。

答

① 特別定額給付金事業など全額国庫
負担の事業やこどもへの図書カード配
布など市独自の支援事業などで、総額は約
182億円である。要した一般財源は約14
億円で、うち約11億円は財政調整基金を活
用した。今後、こまき応援食券などを実施
する。② 自然災害が発生した際、市町村は災
害応急対策の義務を負い、その経費を原則
負担する。災害発生時の時期や規模は予測で
きないため、今後も積極的な財源確保、行財
政改革による歳出の抑制により健全財政を
維持するとともに、不測の事態に備え、財政
調整基金の一定額の確保に努める。

③ 法人市民税の税率引下げ、新型コロナウイルス
感染症の影響を受けた企業収益・設
備投資の動向、雇用情
勢等から、法人市民税は
今年度と来年度、個人
市民税と固定資産税は
来年度の税収が減少し、
税収総額として減額が
続くと予測している。



行政のデジタル化



公明党小牧市議団
星 熊 伸 作

問

① 特別定額給付金の申請について問う。
② 行政手続きの見直しについて問う。
③ 市役所内の業務効率化について問う。
④ テレワークの推進について問う。

答

① 本市では8月20日で申請受付を終了
し、申請率は約99.5%、うちオンライン
申請の割合は約4%であった。市からは迅速
かつ正確な給付金の支給のため郵送申請を
推奨した。② 感染症対策としてソーシャル
ディスタンスの確保が必須であり行政手続き
のオンライン化やペーパーレス化の必要性が
高まるため、国の法令等改正の動向を注視
しつつ、行政内部の業務のペーパーレス化を
検討している。③ 昨年度A-I・OCR及びRPA
導入の実証実験を行い業務効率化に繋
がったため、今年度は対象業務を拡大して実
施予定。更なる対象業務の洗い出しを検討
する。④ 職員の新型コロナウイルス
感染症に伴う業
務停止を避けるため、
4月24日以降テレワーク
及び時差出勤を実施し
ている。改善や業務プロ
セスの見直しなどを行
い、働き方の多様化につ
ながりたい。



こまき巡回バス



牧 政 会
石 田 知 早 人
いしだ ちさと

問

令和2年12月、こまき巡回バスは市内全域で再編が実施されることとなり、愛称募集の結果「こまくる」に決定された。そこで、①ルートの再編について問う。②愛称の活用方法について問う。③再編後の利用促進について問う。

答

①今回の再編は、利便性、効率性、経済性に留意し検討を重ね、路線数は4路線増え23路線になるが、運行車両は1台減少し17台に、便数の見直しにより総運行距離も減少するため、運行経費は、再編前後で大きく増加することはない見込みである。②愛称「こまくる」は、再編に合わせ、バスの車体ラッピング、印刷物やバス停などに表示する。今後、効果的なPR方法も検討していく。③再編の出発式のイベント開催などの情報発信に加え、これまで利用されていない方々に対し、利用の機会を設ける必要があると考えており、一定の期間、料金の一部無料化などの実施を検討している。

今後、市民の方々の声を聞きながら、こまき巡回バスが地域住民の足として、より多くの方々に利用してもらえるよう利用促進に努めていく。



通信技術の活用



公明党小牧市議員
加 藤 晶 子
かとう あきこ

問

①「基盤的防災情報流通ネットワークシステム」の利活用と公共施設や学校等の関係機関との情報共有や災害時応援協定を結んでいる地域の業界団体との情報共有はどのように考えているか伺う。②次世代通信網の「ローカル5G」の活用について伺う。

答

①国は、災害情報等を集約し、自治体の災害対応に活用できるシステムの運用を開始したが、各自治体との情報連携方法は示されていない。本市の情報収集は、本年5月より県のシステムに切り替え、クラウド接続により、避難所等でも利用可能である。各団体とは、防災無線、衛星電話、電話により情報共有している。今後はICTの利活用を進めていきたい。

②ローカル5Gは、現在の移动通信システムより超高速、超低遅延等の性能を有する5Gの通信網を特定の範囲内で活用する通信システムである。利活用については、国の活用事例から河川の監視や臨場感あるリアル体験など教育現場での活用が想定される。まずは、国の実証実験の動向などを踏まえ、先進地への視察やセミナーなどで情報収集に努め利活用について研究をしていく。



河内屋用水の汚濁と悪臭



牧 政 会
鈴 木 裕 士
すずき ひろし

問

河内屋用水地域住民は用水が濁水する農閑期に十数年にもわたり強力な悪臭に悩まされている。また、水路は白く汚濁し、水質も悪化している。①河内屋用水の水質汚濁に起因する悪臭についてどのように認識、把握しているのかを問う。②水質の汚濁源であると思われる事業場に対し、どのような関連機関と連携し、どのように改善指導しているのかを問う。③市が考える今後の対策について問う。

答

①水路の水量の少ない時期には汚濁物質が沈殿、腐敗することにより、悪臭が発生していることを認識、把握している。悪臭に関する事業場への指導権限は、市にあるため、水路の状況調査を行い、必要に応じて事業場指導を行っている。

②水質に関する指導権限を持つ愛知県尾張県民事務所と連携して、現場調査や事業場立入調査を行い、排出水の水質改善に向けた行政指導を行っている。

③今後も尾張県民事務所と連携し、より有効な水質改善策を検討し、少しでも悪臭の発生が抑制されるよう行政指導を行っていく考えである。



市民病院の利便性



新政こまき

小川 眞由美

問

- ①会計に時間がかかる。待つ場所が狭い、座れない等の声が多くある。所見を問う。
- ②コロナ禍での密にならない為の会計のあり方を問う。
- ③病院南側の身障者駐車場の使い勝手が悪いとの声。改善の考えを問う。
- ④末永病院事業管理者の考えを問う。



答

①待ち時間の短縮のため会計入力工程の見直し、電話診療の導入による会計の後日振込み等を実施した。また、自動支払機2台を総合窓口の外へ1台を1階へ移設し、待ち合い場所の座席や選択肢を増やした。②来院せずに文書を受け取ることが出来る郵送の検討や診療費の多様化する支払い方法についても調査している。③駐車場棟完成後に行う来院駐車場等の再編の際に、運用面と安全面を考慮しつつ検討するとともに、建物の近くで乗降できる東口・タリーの利用を更に周知していく。④駐車場棟や上切公園の整備により、利便性や周辺環境の向上を期待している。総合窓口の混雑緩和や会計の時間短縮については今後も改善に努め、更に職員一丸となって時代の要請に応えられる病院を目指していきたい。



コロナ禍における情報公開と人権配慮



新政こまき

諸岡 英実

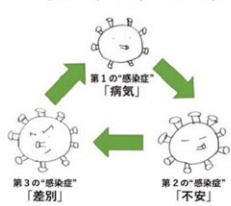
問

- ①新型コロナウイルス感染者の情報の発信方法、情報の取扱や発信の課題は。
- ②感染者やその家族への人権配慮と啓発をどの様に行っているか、今後の課題は。
- ③前項を網羅した感染症全般の課題解決の為、感染症に関する条例制定の考えは。

答

①・②市が把握できる情報は県が公表する情報のみで、市内官公署関係者が感染又は濃厚接触者に特定された場合は、本人からの連絡により、人権配慮の上、速やかな情報提供体制を整えている。県が公表しない感染者の住所等の問合せが市民の声等に寄せられているが、市が発信する情報は、公共の福祉と人権尊重とのバランスを考慮して取扱う。感染者が誹謗中傷・差別されることのないよう、市は感染者情報提供と併せ、市民に対し冷静な行動を呼びかけ、感染者や関係者の人権尊重及び個人情報保護に引き続き理解と協力を願う。

③市の責務として市民の生命及び健康を守る為、感染拡大防止と人権に配慮しつつ小牧市独自の感染症対策条例制定についても、県の条例制定を踏まえ、必要性を十分検討していく。



ごみの収集



新政こまき

谷田貝 将典

問

- 本市は市民の分別協力もあり再資源化率が県下1位とかなり進んでいる。福岡市では夜間収集を行い、市民満足度97%と凄い実績を挙げている。夜間収集のメリットは①カラスが眠っている時間でゴミが荒らされる被害が無くなった②防犯防災に繋がる③交通渋滞緩和④晩御飯で出た生ごみを一晩寝かせておかなくてよい⑤ごみ置き場の腐敗臭が無くなる⑥朝急がなくてよい等、良い事ばかりである。また高齢者や足が不自由の方の為、戸別収集も市民ニーズが高い。夜間収集と戸別収集の実施について市長の所見を問う。

答

夜間収集は、収集時の騒音や、長年稼働している現処理施設にご理解をいただいている近隣の住民や福祉施設における騒音・振動・悪臭の影響を考慮すると、現段階では導入は困難であるが、メリットもあるため研究していきたい。戸別収集は、ごみ処理の有料化も踏まえ市民の声も聞きながら、議論を尽くす必要があると考える。

まず、就任以来進めてきた資源化や利便性の促進をしっかりと定着させていく中で、検討していきたい。



放課後児童クラブ



無会派
山田 美代子
やまおか みよこ

問 ①児童クラブの平日と長期休業日の時間割を問う。②本市においての保育内容の指針はあるのかを問う。③クラブによって、おやつのないところもあるが市の考えを問う。

答 ①一例として、平日は入室後、学習を行った後、外遊びを行い17時からは室内遊びや読書をしながら保護者のお迎えを待つ。長期休業日は入室後、読書。9時から学習と遊び、昼食後は自由に過ごす時間や遊びの時間、17時半からは読書をしながら保護者のお迎えを待つ。学校の時間割や施設の状態など、各児童クラブの状況によって異なる時間割となる。

②小牧市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づき、各児童クラブの運営規程がある。

③保護者の好みや考え、食物アレルギーの問題、おやつ代の管理や調達、保存管理などの課題があることから、市で一律におやつを提供することは、慎重な検討が必要である。



夏休み期間中の学校給食



無会派
安江 美代子
やすえ みよこ

問 ①7月20日から簡易給食が始まり保護者から苦情が多くあったと聞く。そもそも部活動や児童クラブへ行く児童の生活を考えたものではなかった事を反省するべきではないか問う。②近隣市町では通常給食を実施していた。なぜ小牧市はできなかったのか問う。③今後の対応は施設改善も含め、通常給食を提供すべきと思うかどうか問う。

答 ①簡易給食とすることを検討したのは、5月中旬であり、その時点では部活を想定した給食を考えていない。児童クラブは、利用者が低学年の児童が多く不満が出ることは少ないと考えた。児童生徒の安全安心の確保に万全を期すことを最優先に考えた末の判断であるが、結果として児童生徒、保護者の皆さんにご負担をおかけした。今後の学校運営に活かしていきたい。

②通常給食ができなかったため簡易給食としたものではない。児童生徒の安全安心を最優先に考え判断した。

③給食センター・小中学校の配膳室の空調設備の整備などを早急に進めてまいりたいと考えている。



学校給食におけるアレルギー対応食



新政こまき
小沢 国大
こざわ くにひろ

問 アレルギーを持つ児童生徒にもみんなで楽しく給食を！
食に対するアレルギーを持つ子どもが増えてきている。そうした中でアレルギーの原因となる食品を全て取り除いた給食、ユニバーサル給食を実施している自治体がある。

①アレルギーがある児童生徒数の推移について問う。②ユニバーサル給食実施に向けて市の考えを問う。

答 ①アレルギー対応給食には、原因食物を給食から除いて提供するアレルギー除去食と、除去した食物に対して何らかの食材を代替して提供するアレルギー代替食があり、本市が対応しているのはアレルギー除去食である。アレルギー除去食を提供している児童生徒数は、平成29年度が51人、平成30年度が54人、令和元年度が57人、令和2年度が68人で、年々増加している状況である。②近隣でも、アレルギー除去食のひとつとして、ユニバーサル給食を提供している自治体がある。その導入状況や成果等には関心があり、アレルギー除去食を提供する児童生徒数の推移や他市町の実施状況等を見ながら調査研究をしていく。



ごみ分別簡素化



新政こまき
野々川 嘉則

問

ごみ分別簡素化について、①近年のごみ排出の内訳を伺う。②近隣市町のごみ分別状況を伺う。③「ごみ分別アプリ」さんあくる「ごみの日ナビ」の登録状況及びその内容を伺う。可燃ごみ袋について④45リットルの設定がないのはなぜか伺う。⑤45リットルを設ける考えはないか伺う。



答

①令和元年度の総排出量は約3万2739tで、そのうち「ごみ」が約2万4940t、「資源」が約7799t。②名古屋市の可燃、不燃、粗大の3分別の他11品目。春日井市は3分別の他9品目。犬山市は3分別の他8品目。基本的にはいずれの市も同じ内容である。③6月末時点で、「さんあくる」は、日本語1366人、その他外国語818人。「ごみの日ナビ」は、日本語のみ対応で1万6147人の登録で、内容はどちらも収集カレンダー、分け方と出し方、分別早見表など各種情報や機能を有している。④45リットル袋の導入は、資源の混入や、重量が増え、積み込み作業に影響が出る。現在の燃やすごみの対象物であれば、30リットル袋で賄えると考えられる。⑤今後の状況の変化や新たな取組による必要性に応じて検討したい。

学校給食



明正クラブ
大上 利幸

問

①夏季期間の給食の対応を伺う。②市長への事前説明はあったのか。③給食センターの設備の改善計画を伺う。④市長は給食センター施設の課題をいつから把握されていたのか。⑤給食センター空調設備の問題で2名の働かされている市民の方が救急搬送されたが、市長への報告はあったのか。

答

①夏季休業中の給食は、コロナウイルス感染症や、食中毒のリスク等を考え、調理を伴わない簡易給食としたが、特に給食の量が少ないとのこと意見が多かったことから、市負担で食品を1品追加し、また、実質的に軽食で給食費を徴収すべきではないとの市長判断で無償提供とした。今後も安全な学校給食の提供に努めていく。②教育委員会から事前に報告はあり、量についても十分に対応してほしいと伝え、しっかり対応すると答えをもらっていた。③給食センター、各学校の配膳室への空調設備の整備を進めていく。④問題が発生するまで把握していなかった。⑤報告はなく承知していなかった。



その他の質問

- 小中学校における新型コロナウイルス感染症の対応 (長田 淳)
- キャッシュレス決済推進・ポイント還元事業 (木村 哲也)
- こまき応援食事券 (玉井 幸)
- 通園路・散歩道の交通安全対策 (星熊 伸作)
- 子ども会活動への支援 (石田知早人)
- 地域のコミュニティ活動 (鈴木 裕士)
- 特別定額給付金の市独自給付 (小川真由美)
- 保育施設等での使用済み「紙おむつ」持ち帰り (諸岡 英実)
- 新型コロナウイルス感染症対策 (安江美代子)
- 市内小学校の建替え計画 (小沢 国大)
- こまきこども未来館 (大上 利幸)
- 週刊ポスト (大上 利幸)

年賀状等の

差出し自粛に

ご理解を！



市議会では、年賀状等の差出しの自粛を申し合わせています。市民皆様のご理解を賜りますようお願いします。

次回定例会のお知らせ(予定)

- ・12月1日(火)本会議(招集日)
 - ・12月9日(水)本会議(一般質問)
 - ・12月10日(木)本会議(一般質問)
 - ・12月11日(金)本会議(一般質問)
 - ・12月14日(月)総務委員会
 - ・12月15日(火)福祉厚生委員会
 - ・12月16日(水)文教建設委員会
 - ・12月18日(金)予算決算委員会
 - ・12月21日(月)本会議(最終日)
- 正式な日程は、招集日前に開催する議会運営委員会で決定します。
- 議事の都合により、日程が変更になる場合があります。
- ▽傍聴について
- ・新型コロナウイルスの感染状況によりますが、傍聴人同士の距離を保つていただくなど一定の制限を設けることがありますので、ご了承ください。

本会議・委員会ライブ中継・録画配信

○市議会では、インターネットを利用し、本会議及び委員会の様子をライブ中継しています。



○録画映像は、各日程のおよそ1週間後に、市議会ホームページで配信しています。

※議会運営委員会は、開催日の5日前までに開催が決定したものに限り、ライブ中継・録画配信しています。

○ケーブルテレビでも本会議をライブ中継しています。

新型コロナウイルス対策支援会議を継続して開催

市議会では、3月に新型コロナウイルス対策支援会議を設置した以降も、継続して同支援会議を開催し、市へ市民への支援策を要望しております。

- ・日常生活に制限のある障がい者への支援
- ・国、県の給付金の対象とならなかった事業者への市の独自支援
- ・特別定額給付金の市独自支援 など

おしえて！市議会のイロハ③



【委員会とは？】

所管(担当)する事項について、専門的に話し合いを行う場で、市議会議員が委員に任命され、各委員会で議論を行います。

本市では、4つの常任委員会、議会運営委員会、1つの特別委員会が現在設置されていますが、今回は常任委員会をご紹介します。

【常任委員会】

議会に常に設置されている委員会です。条例や予算、決算の議案や請願の審査等を行います。本会議が行われていない期間にも、所管事項について調査・研究を行うことができます。

各委員会が所管する主な内容は次のとおりです。

○予算決算委員会…予算・決算に関すること

○総務委員会…市税、交通安全、防犯、ごみ、観光、消防など

○福祉厚生委員会…福祉、高齢者、子育て支援、文化・スポーツなど

○文教建設委員会…都市整備、公園、上下水道、教育、図書館など

その他の委員会(特別委員会など)については、次号で紹介します。

第2回臨時会

8月7日に開催した臨時会では、一般議案3件、条例案1件、補正予算案1件の合計5議案を審議しました。

一般

▽小牧南小学校改築工事のうち

- ①建築工事請負契約の締結
- ②機械設備工事請負契約の締結
- ③電気設備工事請負契約の締結

小牧南小学校改築工事の請負契約を締結するものです。

契約金額は、①建築工事が31億5480万円、②機械設備工事が4億6750万円、③電気設備工事が2億9351万3000円で

令和2年度中に工事着工し、令和4年中に新校舎の供用を開始する予定です。

結果 いずれも全員
一致で可決



条例

▽特定教育・保育施設等における重大事故検証委員会条例の制定

市内の保育園において発生した誤嚥事故について、検証委員会を設置するものです。

結果 全員一致で可決

補正予算

一般会計補正予算(第7号)は、歳入歳出それぞれ7億4188万2000円増額し、予算総額を803億4371万2000円とするものです。

主なものは次のとおりです。

- ・こまきプレミアム商品券
発行事業費補助金
3億6900万円
- ・こまき応援食事券事業
2億209万6000円

結果 全員一致で可決



第3回臨時会

10月9日に開催した臨時会では、補正予算案1件を審議しました。

補正予算

一般会計補正予算(第10号)は、歳入歳出それぞれ1億500万円増額し、予算総額を805億6075万7000円とするものです。

主なものは次のとおりです。

- ・こまき応援食事券事業
1億500万円

結果 全員一致で可決



議員の寄附行為の禁止について

議員は、選挙区内の人にお金や物を贈ることとは、法律で禁止されています。

地域の行事等で議員に対し会費が伴う行事等の案内をされる場合は、案内文に会費(他の参加者と同額の会費に限ります)を明記してご通知ください。

有権者が求めてもいません。
市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

※撮影のため、一時的にマスクを外しております。
ご理解いただきますようお願いいたします。

議会運営委員会



後列左から 木村委員、澤田委員、河内委員
前列左から 小沢委員、長田委員長、加藤副委員長、
谷田貝委員

議会改革委員会



後列左から 大上委員、安江委員、諸岡委員、鈴木委員
前列左から 船橋委員、稲垣(衿)委員長、野々川副委員長、
玉井委員



総務委員会



後列左から 船引委員、澤田委員、舟橋委員、小沢委員、
石田委員
前列左から 稲垣(衿)委員、木村委員長、野々川副委員長、
安江委員

福祉厚生委員会



後列左から 大上委員、諸岡委員、星熊委員、鈴木委員
前列左から 小島委員、谷田貝委員長、船橋副委員長、
玉井委員

文教建設委員会



後列左から 山田委員、長田委員、稲垣(守)委員、石田委員
前列左から 小川委員、熊澤委員長、河内副委員長、加藤委員

給食に関する

要望書を市長へ提出

本年7月20日以降の簡易給食に関して、保護者から多くの意見が議員に寄せられたため、市議会は、教育委員会事務局にその経緯について聞き取りを行いました。

「猛暑の中での調理給食は食中毒の心配があり、パンなどの個包装のものを給食として提供した。」等の回答がありましたが、給食センターの空調設備が十分でないことから、センター内の室温が高くなり、食中毒の心配とともに調理員の労働環境が厳しいことも判明しました。

そのため、8月25日に文教建設委員会の委員を中心に、給食センターの現場を視察し、空調設備の整備の必要性を確認しました。



今後、夏休みを除いた7月、9月においても猛暑が予想され、現状のままでは調理給食が安定して提供されない恐れもあり、給食センターをはじめ、給食施設の整備を早急に行うよう、9月4日付けで市長に要望しました。

【要望事項】

夏季にも調理給食を安定して実施できるよう、給食センターをはじめ、配送・保管・配膳までの一連の給食のサイクルを早急に点検し、必要な改修・整備をすること。

第3回定例会で給食センターの空調設計費を可決

「その後の経過」

市は第3回定例会中において、給食センターの空調設備の整備を目的とした補正予算が追加で提出され、審議の結果、同予算は可決されました。

なお、審査の内容については、9ページ下段の文教建設分科会の記事をご覧ください。



編集後記

議会だより編集委員長を拝命致しました。

議会だよりは、議会で決まった議案の内容や個人通告質問など、市民生活に直結する大切な事が掲載されており、市民の皆様には、わかりやすく、読みやすい誌面づくりに努めてまいります。

新メンバー一丸となって、より親しみやすく充実した議会だよりにしてまいりますので、お手元に届きましたら、是非ともご覧いただきまますよう、よろしくお願い致します。

小川 真由美



議会だより編集委員会

後列左から：船引委員、石田委員、星熊委員

前列左から：熊澤委員、小川委員長、山田副委員長、稲垣(守)委員

※撮影のため、一時的にマスクを外しております。